

委員会議事概要

1 委員会名	令和4年度 第2回沖縄海区漁業調整委員会
2 開催日時	令和4年5月13日（金） 14:12～15:25
3 開催場所	県自治研修所8階特別研修室
4 出席委員 (定数15名中12名)	<p>(会場)</p> <p>赤嶺博之委員、上原亀一委員、大城和夫委員、大嶺嘉昭委員、八前隆一委員</p> <p>(Web)</p> <p>池田博委員、伊良波宏紀委員、大谷健太郎委員、新立弘子委員、藤田喜久委員、天方徹委員、城間恒浩委員</p>
5 議事録署名人	八前隆一委員、大谷健太郎委員
6 議事内容	
(1) 第1号議案	浮魚礁の敷設承認申請について (P1～P18、別添)
【要旨】	新規承認申請が5基（港川漁協、知念漁協、石川漁協、石川漁協）と再承認申請18基（恩納村漁協、渡嘉敷漁協、座間味村漁協、港川漁協、与那城町漁協、八重瀬町、南城市、沖縄市漁協、与那城町漁協）があった。原案のとおり全て承認された。
【特記事項】	特になし。
(2) 第2号議案	ウミガメの採捕承認申請について (P19～P35)
【要旨】	試験研究目的1件（全国水産技術協会）、漁業1件の申請があり、原案のとおり承認された。
【特記事項】	特になし。
(3) 第3号議案	沖縄県漁業調整委員会指示違反に対する処分方針の改正について (P36～P48)
【要旨】	現行の委員会指示である「沖縄海区漁業調整委員会指示に対する処分方針」は、漁業法の改正や委員会指示の変更に伴い、改正が必要となっていた。令和3年度第12回の委員会で改正案が承認され、県ホームページで1ヶ月間パブリックコメントを募集したところ、意見は寄せられなかったことを報告した。原案のとおり承認された。
【特記事項】	特になし。
(4) 第4号議案	ソデイカの採捕承認申請について (P49～P66)
【要旨】	沖縄科学技術大学院大学から、試験研究目的で、禁漁期間の6月にソデイカの採捕を行う申請があり、原案のとおり承認された。
【特記事項】	【藤田委員】 研究内容について異議はないが、今回、申請のあった採捕

	<p>数の 10 尾以上採捕された場合の委員会の対応はどうか。</p> <p>【事務局】内水面漁場管理委員会のリュウキュウアユでは、申請以上に採捕された場合も、みなし承認として扱っているが、今回の件については未検討だったので検討したい。</p> <p>【藤田委員】ソデイカは水産利用可能なため、予め対応を検討しておく必要がある。</p> <p>【上原議長】陸上の水槽で飼育する予定なので、多く持ってきても飼育は困難だと思う。研究者と実施者で調整をしてもらおう。</p> <p>【八前委員】採捕承認書は、この紙 1 枚だけか。ほかに試験で採捕していることを示すものがないと、周囲の漁業者から疑念を持たれる。</p> <p>【事務局】最近、試験研究での採捕申請がなかった。暫定的に承認書の案作成し提案した。</p> <p>委員会指示に違反した操業ではないことを示すためにも、申請者から漁業無線協会に、試験操業の周知をする放送を依頼したり、試験操業を行う漁業者の所属漁協で誤解を招かないような対応を依頼したりすることが必要だと申請者に説明する。</p>
<p>(5) 報告事項 1</p> <p>【要旨】</p>	<p>くろまぐろ知事管理漁獲可能量の変更について（事後報告）（P67～P70）</p> <p>くろまぐろの令和 4 管理年度の知事管理漁獲可能量の変更については、予め委員会において答申されていたため、事後報告とする。</p> <p>変更内容は、都道府県別に定めた数量のうち、くろまぐろ（大型魚）の本県への配分量 147 トンに、追加配分が 36.6 トン、去年からの自県の繰越しが 12.7 トンあったことから、計 49.3 トン増の 196.3 トンとなった。</p>
<p>【特記事項】</p>	<p>特になし。</p>
<p>(6) 報告事項 2</p> <p>【要旨】</p>	<p>次期漁業権に関する要望調査の進捗状況について（P71～P79）</p> <p>現在免許されている全ての漁業権（共同・区画・特区・定置）は、存続期間が令和 5 年 8 月 31 日までとなっているため、同年 9 月 1 日付けの一斉切替に向け作業を進めている。この手続における今後のスケジュールと現在の進捗状況について説明を行った。</p>
<p>【特記事項】</p>	<p>特になし</p>